

1 第 4 回 正副会長会議開催

昭和 56 年新春の第 4 回正副会長会議が 1 月 6 日福島市において開催された。当日は会議に先立ち弘吉市に向き、建設省東北地方建設局、郵政省東北郵政局、電信電話公社等の首脳幹部に、関係課に対し新年の挨拶廻りを行い、帰福後直ちに会議も開催下記事項について審議された。

又翌 7 日には県首脳部、関係課、県住宅供給公社、県建設技術センター及び建設関係友好団体に対し新年の挨拶廻りも行った。

- (1) 昭和 56 年度予算の執行について
 本年度予算の 12 月末日までの支入支出状況が順調に執行されていることを説明。なお利服等の協会負担については、さきの理事会で本年度予算より支出することも承認されているが、福利厚生費の科目より支出することについて了承を得る。
- (2) 昭和 56 年度研修旅行について
 さきに決定されている昭和 56 年度海外(アム)研修旅行については、航空時間の変更により 3 泊 4 日も 4 泊 5 日に変更せざるを得なくなった。このため帰国日と日曜日とし了承を得る。次に出発日と何日にするかを審議し、公共工事の発注時期、協会、工業組合の決算、予算編成、理事会、監査等を考慮し 4 月 8 日から 12 日までの 4 泊 5 日と決定する。
- (3) 会員の新規加入について
 郡山支部より 1 件の入会願書が提出され審議の結果、次期理事会に提案すること了承する。
- (4) 建設業退職金共済組合について 略
- (5) 電気工事設計積算資料について 略

2 会津支部で現場ハトロール実施

会津支部では 12 月 16 日に福島県発注の工事現場ハトロールを実施した。当日は同一地内に 2 棟建設されている県管住宅電気設備工事の工事現場と直接見聞し、客観的な現場で施工面、安全管理面について視察、自社工事との比較検討を行い、より一層の向上を図ることを目的で行った。

会員はじめ現場代理人等 14 名が参加。会津若松建設事務所より本田技師殿の指導も得て、現場書類の検討、施工現場ハトロールを行った。講評と受け解散したが、極めて有意義な研修であった。

3. 第 3 回 県電設協・県管工連特別委員会開催

本協会と県管工事協同組合連合会の第 3 回特別委員会が 1 月 28 日午後 3 時より福島市杉妻会館において開催された。

当日は昭和 56 年度当初予算の知事査定も控え、ご多忙にも抱らず松井土木部長殿はじめ船尾次長、伏見局長、渡辺監理、影山土木検査、加藤住宅、橋本管繕の各課長殿及び管繕課前山、馬両主幹殿のご出席をいただき、本会より正副会長、支部長、池添理事長の 9 氏、管工連より正副会長 2 氏が出席され両会長挨拶、伏見局長のご挨拶もいただき、議長に吉川管工連会長を選出、協議に入った。

- (1) 各町村に対する分離発注の推進について
 設備工事における分離発注については現在、国県市工事に限っては 3 割以上が分離発注も実施されているが、町村についてはその大部分が未だ一括発注の現状から、両団体連名で要望書も提出し分離発注の推進も実施する。
 - (2) 実施時期 昭和 56 年 4 月 1 日以降
 - (3) 要望先 該当町村長、町村議会議長、
 県、県議会、県建設事務所、県建設技術センター、県町村会、地方町村会等にも推進方を願う。
 - (4) 該当町村の調査、電設協・管工連の各支部長(理事長)において調査、本部に報告する。
 - (5) 要望方法、各支部長(理事長)より管内町村の状況も聴取、必要に応じ両会長が支部長(理事長)とともに町村に訪問し要望する。
 - (6) 要望書等の準備、事務局京葉の字句の訂正を行い印刷する。
 - (7) その他 業界界に協力を願い、分離発注の PR を行う。
- (2) 建設関連 3 団体(設監協・電設協・管工連)懇談会の開催について
 昨年 2 月開催した建設関連 3 団体の懇談会も本年も実施するが等について協議し、基本的には実施することとし、時期、場所、方法等については両会長に一任する。
- なお県設計協同組合も含め 4 団体の懇談会とする。又県電気工事工業組合も含めることについては今後吉田会長、池添理事長の間で話と結めることとする。
- (3) 共同企業体について
 県の昭和 56 年度以降の管繕計画に県自治会館、県立美術館、同図書館、県立医科大学等の大型工事が見られるが、これら工事に対し県内業界の受入態勢が目下の緊急課題であり、これが対策として県内企業同志による共同企業体方式の取組みにより対応したいが、県においてこれが企業体の編成等についての考えを伺いたい。これに対し渡辺監理課長より昭和 56 年 1 月より従来の一般共同企業体登録、他に大型工事発注に伴う特別共同企業体の編成等について具体的に説明があった。

1) その他

(1) 昭和 56 年度県管繕工事の見通しについて
 橋本管繕課長より説明
 1 月 27 日より知事査定が実施されているが、現在流動的であり、県美術館、図書館、県自治会館、矢次病院、白河体育館、会津職業訓練校、相馬警察署等の建設はほぼ予算化されるであろう。教育庁関係は前年同様発注の予定、新規校も若干あるものと思料される。

公営住宅、特に市町村公営住宅については用地問題があるため若干ラフなごみ、総合的には件数、事業費とも前年度より若干延びるものと思料される。

会議終了後同会館において懇談会を開催し、松井土木部長殿には地震の心配から 1 時間 30 分も遅れ帰福されたにもかかわらず、会議に直行されるなど、土木部幹部が多数ご出席されたことは、他の団体にも例がなく、設備団体に深い関心を示されて下さったもので、両団体としてはここに感謝に堪えないところであり、極めて有意義な会議、会合であった。

4 協会の動き

1 月 5 日	仕事はじめ
6 日	正副会長、東北地方建設局、東北郵政局、電々公社等に新年挨拶廻り 仙台市
6 日	第 4 回正副会長会議 PM 2:00 福島市
7 日	正副会長、専務理事、池添理事長、県住宅供給公社、建設技術センター、東北電力福島支店及び建設関係友好団体に新年挨拶廻り
7 日	知事招待懇親会 知事公館 会長出席
13 日	雇用促進事業団に分離発注、県内業者指名推進陳情のため会長上京
17 日	県配電盤工業会新年会招待 正副会長出席
19 日	分離発注推進のため 会長、八巻相支部長、小高町、大熊町、富岡町 訪問
21 日	会津支部新年会 会長出席
25 日	(南)昭和電機商会故布施勝利殿 告別式 専務理事参列 いわき市小名浜
28 日	県電設協・県管工連特別委員会 正副会長、専務理事、池添理事長出席 福島市
31 日	雄山会新年会 会長出席 福島市

— 会員消息 —

(訃報)

ご逝去も悼み謹んでお悔み申し上げます。
 いわき支部 (有)昭和電機商会 代表取締役 布施 勝利殿 (44才)
 1 月 23 日 死去

海外研修旅行 4 月 8 日 出発

第 30 回総会記念行事の一環として実施される昭和 56 年度の海外(アム)研修旅行については、1 月 16 日付をもつてご案内申し上げたところであるが、アム島について若干述べ旅行の参考としていたが、さうい。

"愛と潮騒の島 アム島"

アム島は東京から南へ 2500 Km、ジェット機で 3 時間、マリアナ諸島の最南端に位置し、人口約 13 万人、首都はアゲニヤ、マニラ、バンコクなどと同じ北緯でハワイよりも赤道に近い、東経では日本の釧路と同じである。面積は約 560 平方 Km、日本の淡路島とほぼ同じ大きさ、東北から西南にかけて細長く延び、中央が少しくびれた形をしており周囲をサンゴ礁で取り囲まれている。

島には 4000 年ほど前からチヤロ族が住みつづいて、世界史の舞台に登場するのは、1521 年に世界一周航海途上のフェルディナント・マゼランによって発見されたからのこと。そして、1565 年から 300 年間と超えるスペイン統治時代を経て、1899 年にアメリカ領となった。

現在はアメリカの準州として米憲法のもとで独自の議会と、知事、政府によって運営されている。

政治形態、社会制度などはすべてアメリカ方式だがチヤロ時代、スペイン時代の風俗や習慣も根強く残っている。

さらに日本、東南アジア等からの移住者も多く、さまざまな人種と文化のまじり合いが作り出すユニークさが、島の魅力も一層大きなものになっている。

使われている言葉は総て英語、ヒルが少なく平屋が多いのはアムの特徴、これは"台風銀座"のせい、デパートにしても建物面積は広いのに上にのびない、2 階を持つ建物は少ない。

旅行地としてのアムは何ごとにもゆつくり、のんびりとしたバケーションアイランド。アムは観光地として完成しすぎたない、だから旅の楽しみ方が一様でなく、旅行者それぞれに"手づくりの旅"を味わえる機会が多い。

年間の平均気温 27℃
 常夏のアムは別名"愛と潮騒の島"とも呼ばれている。

協会だより

4. 東北七県連厚生年金基金に加入しよう

近年、年金への関心が高まってきた。「年金時代の到来」というような言葉も決して誇張には聞こえない。むしろ時宜に適したものであるように考えられる。日本人の平均寿命は戦後の昭和21～22年までは文字通り「人生50年」であったが、その後1年間にほんの1割の伸びを示し、昭和47年には男70歳・女76歳となり、なにより世界の長寿国と肩を並べるまでになった。平均寿命が伸びると当然人口のなかにもめる高齢者の割合が高くなる。

わが国の65歳以上の人が人口にもめる割合は昭和30年には5.3%、40年には6.3%、50年7.9%、60年には10.1%、70年には13.1%程度になると予想される。

この割合以上にも及ぶ高齢者は、働かなくなった人が養ってゆくことは容易でない。老後生活は益々きびしくなることを覚悟しなければならぬ。このように高齢化社会にどうするかは社会問題となっている。

このような環境の中で電気工事業界がたくましく発展してゆくためには、経営者は勿論、優秀な従業員の確保、職場環境の整備、老後の福祉の充実などが重要となってくる。

東北七県電気工事組合連合会においては、これら対策について数年前より種々検討を重ねてきたところであるが、小規模企業の多い業界においては個々の企業のみでは微々たるものである。そこで業界全体の制度として比較的ローコストで確実にかつ公平に目的が達せられる国の厚生年金(現在各企業が加入している)にリンクし、税制上および貸付法に基づく退職金の保全措置の適用と免除されるなどの特典を有する厚生年金基金制度(公的年金制度である厚生年金の事業の一部を国に代って行う法人)が最もその条件を満たされるものと判断され、東北七県連内に厚生年金基金設立準備委員会が設立され、昭和47年4月発足を目前に現在準備を進めておるところである。

すでに電気工事業界では、全国7ブロック中7基金が設立され順調に運営されており、目下基金の制度仕組み等について工業組合の組織を通じ説明会も行っているが、工業組合の組合員でもある協会の各位には、オーナーは勿論、職員の将来について充分ご理解の上是非基金に加入されるようお願いするものである。

なお5月より準備委員会において委託した生命保険会社が各企業も訪問、基金制度を説明し、ご理解も得る予定になっている。

(別冊「厚生年金基金 加入のおすすめ」もご覧下さい。)

5. 海外研修旅行 49名参加

第30回総会記念行事の一環として来る4月8日より12日まで4泊5日の日程で実施される昭和56年度海外(アム)研修旅行についてはさきにご案内いただいた参加募集中のところ、この程締切り、参加者かまとなりました。

支部別参加者は次のとおりです。

なお参加者より成田空港までの往復をバス利用にしてはとの声もあり目下検討中です。しかも出発前に成田山詣りも企画されてはとの意見もありますのでこれらを含め

とごまきしにあら、あらためて参加される皆さんにご通知いたします。

支部名	参加者	合計	備考
福島支部	4	4	
郡山	12	12	
白河	6	6	
いわき	7	7	
相双	5	2	7
会津	9	9	
本部	2	2	4
計	46	4	49

6 協会の動き

2. 2	第10回協会主催冬期ゴルフ大会	25名参加	小名浜CC
5	福島支部技術研習会	会長出席	電協会館
9	町村工事の電気工事分離発注、地元業者優先指名について陳情	小高町、会長、専務理事	
12	白河支部例会	白河市、会長、専務理事	
14	市工事の電気工事分離発注陳情	二本松市、会長	
16	昭和56年度県工事に対し県内業者指名について陳情	副知事ほか、会長、大槻副会長、専務	
19	紺綬褒章伝達	県教育庁	電協会館において
	建設4団体懇談会打合せ	大槻副会長ほか4団体代表	電協会館
28	県測量設計業協会第14回通常総会	専務理事	飯坂町ホテル聚楽

—— 会 員 消 息 ——

- 【代表者変更】。いわき支部 (有)昭和電機商会【新】布施俊子【旧】布施勝利 2月6日
- 【組織変更】。福島支部 (新)広栄電設(株)【旧】(有)広栄電設 2月10日
- 【住所変更】。郡山支部 (有)東北仁井田電業 15年8月13日
 (新)須賀川市八幡町 25-1
 (旧)須賀川市八幡町 22-17
 自宅新住所 須賀川市五月雨 26-3
- 。福島支部 (有)遠藤電機商会 2月1日
 (新)福島市宮下町 8-23
 (旧)福島市新町 5-7
 電話番号
 (新) 0245 (21) 1234
 (21) 1235
 (旧) 0245 (22) 2759

1. 県内市町村長に対し適正価格による公共事業の発注方要望
県建設関係団体連合会

県建設関係団体連合会(建設6団体)は公共事業の発注に際し、設計書金額の一部を理由なく控除して予定価格を作成しているいわゆる歩切りの例が見受けられ、このため工事の的確な実施と建設業の健全な経営の維持に好ましくない影響を及ぼしているところから、県内市町村長に対し適正価格による公共事業の発注方についてお願いした。その内容を参考までお知らせする。

適正価格による公共工事の発注についてお願い

地元建設業界に関しましては、平素から格別にご配慮と賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本件につきましては、昨年中央建設審議会において歩切り問題として指摘されたのにはじまり、建設省においても種々対応措置を講じられ、本県においても昨年7月9日付で貴職にもよろしくご配慮賜るようお願い申し上げた次第であります。

その後、行政管理庁において全国的に歩切りの実態調査を行い、その結果にもとづき昨年11月25日関係機関に改善措置を講ずるよう要請し、建設省では改めて事務次官名をもつて関係省庁、都道府県、指定市および関係公園の各長に対し、公共工事の予定価格は積算結果を尊重し適正な決定に基づき発注するよう通達するにも、管下発注機関への周知徹底も依頼しました。

特に調査結果によれば、市町村工事にその傾向が強いところから、本県においても建設省の意向を受け、別紙のとおり土木部長名をもつて各市町村に通知された次第であります。(別紙略)

つきましては、適正価格の発注についてはかねてご留意賜っていることとは存じますが、建設業界の当面している厳しい環境をご賢察され、さらに特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

2 協会主催ゴルフ冬期大会開催さる

第10回協会主催の冬期ゴルフ大会は2月2日小名浜カントリークラブにおいて開催された。

従来協会のゴルフ大会は年1回夏において実施されておりましたが、去る1月6日開催の正副会長会議の中で冬期における心身鍛錬のため是非ゴルフコンペを開催すべきとの話合から開催となつたものである。

40名を超える参加申込みがあり、盛大なコンペになると期待しておりましたが、生憎当日は中通り一帯の猛吹雪に見舞われ、欠席者が続出、25名の参加となった。

会場の小名浜は強風ながらも晴天にめぐまれ、ますますの日和。

午前10時吉田会長の始球式にはじまり、アウト、インに分かれ18ホールストロークプレーで開始出発した。

しかしプレーは強風に影響され、様々にスコアもくすし日頃の好成績も発揮できなかった。

午後4時からクラブハウスにおいて表彰式を行ない、主催者吉田会長の挨拶、飯坂副会長の歓迎の挨拶につづき、松崎競技委員長より別掲のとおり成績発表があり、参加者全員に豪華な賞品も贈るにも各種のアトラクション賞もあり極めて楽しい大会であった。

本大会開催にあたり、いわき支部会員には多大のご盡力をいただき、厚くお礼申し上げます。ご参加の皆さん、ご苦勞様でした。

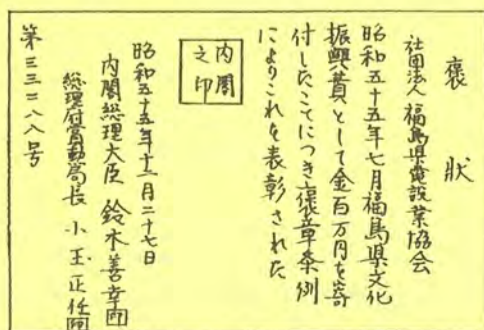
成績は次のとおりである。

優勝	松本 仁 (松本電気工業所)	46.58	27.0	74.0
準優勝	遠藤 光昭 (比光電設)	47.42	12.0	76.0
一位	高橋 幸一 (高橋電気工業所)	41.42	6.5	77.5
二位	田村 忠男 (田村電設工業)	46.16	22.8	78.2
三位	坂本 博太郎 (常盤電設産業)	47.62	20.5	78.5
四位	松崎 勉 (大和電設工業)	42.48	16.2	78.8
五位	市川 若美 (吳羽電機工事)	52.47	19.4	79.6
ブービー	新野 信一 (日新電設)			

3 本協会に紺綬褒章授章さる

本協会は福島県が県民文化の向上とねらいとする県文化振興基金の基金造成に賛同し、昨年7月100万円を寄付しておられたところ、公共機関に多額の寄付をされた者に贈られる紺綬褒章が昨年12月20日付で内閣総理大臣が授章を決定され、2月18日県教育庁文化課より伝達された。

褒状は次のとおりである。



2. 昭和56年度福島県管轄工事の概要

福島県土木部提供

昭和56年度における本県の管轄工事の事業量は、工事費総額185億4,000万円、件数は359件の計上され、昭和55年度当初に對比して24%増加している。

内訳は

知事部局	206件	9.94億万円	52.6%
教育庁	125件	2.018億万円	27.9%
警察本部	28件	1.578億万円	8.5%
計	359件	18.540億万円	100.0%

とされており、本年度は昨年度に引き続き、(1)施設に文化性をもたせ、(2)省資源を図る、(3)身障者利用対策、(4)建物の安全対策も推進する、の四つの事項を基本目標として実施される。

主要工事一覧表

工事名	工事場所	構造	階数(地上/地下)	延面積(m ²)	備考
福島県庁分庁舎	福島市	SRC	8/0	1,290.7	
保原保健所庁舎改築	保原町	RC	2/0	87.0	
福島東高校舎新築第2期	福島市	RC	4/0	2,907	
本宮高校舎改築第1期	本宮町	RC	2/0	2,085	
福島女子高校体育館	福島市	SRC	1/0	1,420	
福島東高校体育館	・	SRC	1/0	1,139	
安達東高校体育館	安達町	SRC	1/0	213	
須賀川保健所庁舎改築	須賀川市	RC	2/0	825	
郡山商業高校舎改築	郡山市	RC	2/0	1,255	
須賀川女子高校舎改築	須賀川市	RC	2/0	1,800	
船引高校舎改築	船引町	RC	2/0	2,522	
全通高校御館分校体育館	郡山市	SRC	1/0	213	
郡山交通専門学校新築	・	RC	2/0	485	
警察職員公会館新築	須賀川市	RC	4/0	1,022	
警察職員公会館新築	小野町	RC	2/0	812	
職員公会館改築	棚倉町	RC	4/0	270	
茨城学院改築	茨城町	RC	2-3/0	5,427	
農業経営大学校舎建設	・	RC	2/0	828	
白河高校体育館	白河市	SRC	1/0	1,420	
全通職業訓練校改築	塩川町	RC	2/0	5,227	
職員公会館建設	楢葉町	RC	5/0	496	
警察職員公会館新築	塩川町	RC	2/0	812	
警察職員公会館新築	楢葉町	RC	5/0	541	
せあぶり荘改築	会津若松市	RC	2/1	1,540	
会津総合病院医研アパート建設	・	RC	2/0	1,165	
川口高校舎改築第2期	会津若松市	RC	4/0	2,522	
全通女子高校体育館	会津若松市	SRC	1/0	1,420	
教職員住宅建設	・	RC	4/0	1,624	
職員公会館建設	京町市	RC	4/0	1,522	
栽培漁業センター建設	大熊町	SRC	1/0	-	
小高工業高校産振施設	小高町	RC	2/0	1,463	
相馬警察庁舎新築	相馬市	RC	2/0	1,827	
警察職員公会館新築	高岡町	RC	2/0	812	
職員公会館建設	いわき市	RC	5/0	1,822	
好間高校舎改築第2期	・	RC	2/0	2,021	
勾米高校舎改築第2期	・	RC	2/0	2,055	
勾米工業高校舎改築	・	RC	2/0	1,255	

3. いわき支部で現場研修会並びに臨時総会

いわき支部において2月17日支部技術員による現場研修会を実施した。

当日はいわき建設事務所より、支部建築課長のご出席を得、坂本支部長、松崎県協会技術副委員長及び支部技術員6名が参加、県立平養護学校舎新築工事、県営住宅建設工事、警察職員公会館新築工事、放職員住宅新築工事、1名浜港上座建築工事の8ヶ所の電気設備工事について現場パトロールを行った。

パトロール終了後支部の臨時総会を開催、技術パトロールの状況報告、支部課長からの講評をいただき、引き続き技術委員会主催による信号機工事技術講習会の開催、保安帽作成案について協議してほか、年末年始休暇期間中の公共施設に対する保守サービス業務の状況報告、又去る1月20日死亡された昭和電機の社葬の御礼及び新任代表者の挨拶があった。

この臨時総会には、渡辺いわき建設事務所長もご多忙のところにもご出席いただき大変盛んな総会であった。

4. 建設関係4団体懇談会開催さる

県建築設計監理協会、県建築設計協同組合、県管工事協同組合連合会、県電設業協会の建設4団体の懇談会が3月19日福島市杉東町の福島県杉東会館において開催し、市町村工事等の分離発注、県内業者の優先指名協力など8項目について話し合った。当日は県より松井土木部長、伏見都市局長、加藤住宅課長、橋本管轄課長の4氏が招き、4団体より約60名が出席、本協会からは正副会長、支部長等10名が出席した。午後2時より支部事務理事司会のもとに4団体の会長、理事長の挨拶に引き続き、松井土木部長殿のご挨拶をいただき、吉田電設業協会会長も座長に選び、懇談会に入った。

あらかじめ各団体より提案のあった次の8項目についてそれぞれ提案説明があり積極的に討議がなされた。

- 市町村建築工事等分離発注協力方について (電設協)
- 県内業者の優先指名協力方について ()
- 分離発注における受注態勢の整備について (設計両団体)
- 分離発注の意義とこれが周知方法について ()
- 分離発注における施工上のトラブルについて ()
- 代行管理における施工者の対応について ()
- 工事施工現場における設計図書等との相違の解決について (管工連)
- 建築工事における本体工事と設備工事との竣工期日の間隔を置くことについて (管工連)

特に本会提案の分離発注協力方(大塚副会長提案説明)及び県内業者の優先指名協力方(坂本副会長提案説明)を設計団体から発注者に対し要請したところであるが、設計団体よりこれ等に対し、社内態勢の強化、技術水準の向上、現場代理人に対する指導等についての意見が出された。

1. 55.12 雪害事故について

このほど東北電力株式会社より本会に、昨年12月24日本県及び宮城県に大きな被害をもたらした雪害事故についての概要報告がありましたので協会だよりに掲載し、会員各位の参考に供します。

昨年暮の12月24日、福島県、宮城県および岩手県南部は台風なみに発達した低気圧(二つの低気圧)の通過によって、当地方では未だ経験したことのない暴風雪に見舞われました。

この暴風雪により、当社の送電線や配電線に大きな被害を受け、各地において停電事故が続発し、福島県、宮城県を中心として最大では60万戸に及ぶ停電事故となりました。

この停電事故により多数の方々にご不便をおかけ致しましたことを深くお詫びする次第であります。

まず今回の暴風雪の特徴と雪害事故の概要についてご説明いたします。

(暴風雪の特徴)

- 台風なみの二つの低気圧は冬場ではかつて東北南部では経験しなかつた異常気象であつたこと。
 - 二つの低気圧が長時間東北南部に停滞したこと。
 - 雪の比重が普通の雪より3〜4倍重いのであつたこと(水と氷の比重は1.0)
 - 最大瞬間風速20mの強い風が吹き荒れたこと、場所によっては38mも記録されていること。
 - 気温は1℃〜3℃で電線に雪が最も着きやすい気温であつたこと。
 - 今回の着雪状況について外径10cm〜15cmの送電線/m当りの加重が4.5kgに達したこと。
 - このような気象はめったにおこりえない極めて異常なものであつたこと。
- このような異常気象条件のもとで事故が発生しましたが、各設備別の被害をみてみますと次の通りであります。

(設備の被害状況)

- 水力発電設備
降雪が水路をふさぎ5発電所、送電線事故により59発電所が停止しましたが設備には被害はありませんでした。
- 火力発電設備
強風および高潮により土木設備を中心に被害を受けましたが発電機故障となる設備被害はありませんでした。

○ 送電設備

降雪と強風により大きな電線着雪が発生し、しかも重い着雪のため、275KV送電線をはじめ154KV、66KV送電線に鉄塔傾斜、倒壊や断線等の被害が福島、宮城県を中心に発生しました。(鉄塔倒壊62基、折損58基、傾斜22基)

○ 配電設備

電線着雪による断線、混線や樹木倒れによる電柱傾斜、倒壊などが発生しました。(電柱倒壊、折損396本、傾斜8,419本、高圧線断、混線3096条など)電源側および配電側の事故により停電戸数は12月24日午後5時頃で最大で約60万戸に達しました。

当社は災害発生と同時に本店および各支店において非常災害対策本部を設置し、青森、秋田、山形、新潟など当社全管内から応援隊を求め、更に地元の工事業者、さらには他電力会社からの応援もいただき、24時間体制でヘリコプターなど機動力を駆使し、夜も徹して復旧に努めました。(動員数延約4万人、車両11,600台)この結果、送電線の事故による一般需要家の停電は12月27日に、また配電線の事故による停電は12月29日(福島県の一部)に復旧いたしました。

しかしながら今回の暴風雪はかつて経験したことのない異常気象で専門家の話では100年に一度とも言われる悪条件のもと、鉄塔の倒壊、折損、傾斜などが数多く発生し、先の宮城県沖地震の被害をはるかに上回る大きな被害を受け、(電柱倒壊、折損2.2倍、配電線断線1.1倍)加えて、悪天候の中での交通マヒ等から事故状況の把握に困難を極め、又豪雪による道路事情の悪化によって資材の運搬等に予想外の時間も要する結果となりました。このような事情により復旧作業の過程において復旧の見通しをせむと得ず再度にわたって変更せざるを得ないこととなり、多大のご迷惑をおかけすることとなり誠に申し訳なく思っております。

当社では、現代社会における電気的重要性に鑑み、悪条件のもとで復旧作業に全力を傾注する一方、停電が長時間に及んでいる地域に対しては、電気事業の生活防衛産業としての立場から仙台市の一部、福島県郡山市とその周辺、市町村の一部需要家に対して、光熱、食料など(ローソフ、カノ等)の緊急生活物資を段階的に配布するともに除雪の要員を動員するなど民生の安定に努めてまいりました。

当社は今回の事故を貴重な体験を受け、社内には事故調査委員会を設置し、事故原因を徹底的に究明し、雪害に対する万全の対策を講じてまいり、電力の安定供給の確保のため全社をあげて邁進してまいり、覚悟でありますので、今後とも更なるご指導ご理解を切にお願ひ申し上げます。

1. 第30回通常総会 5月20日開催

第1回理事会開催さる。

協会本年度第1回理事会が4月22日午前10時30分より電協会館において開催され総会に提案する議案を中心に審議された。

- (1) 昭和55年度事業報告並びに同決算報告承認について。
 - (2) 昭和56年度事業計画並びに同予算案について。
- 極めて混迷の80年を迎え、深刻な経済環境から工事量の受注が減少する等厳しい試練が強いられている今日、県外業者の進出をはばみ工事の分離発注、県内業者指名優先の啓発活動に尚一層努力することが協会に課せられた最も重要な課題であるとともに、本年度は第30回総会のため記念行事も行うことから、予算については大型編成になったことなどを説明、積極的な質疑等が出され、一部予算修正の上、総会に提案する議案が決定した。

(3) 役員改選について
本年度は役員改選期にあたるが、理事の選出方法については従来の方で行なうことも確認した。

(4) 昭和56年度第30回通常総会並びに記念式典について。
5月20日(水)午前10時より福島県杉妻会館において総会を開催、午後1時30分より同会館において記念式典も行なうことと決められた。

又記念関連行事として翌21日新霊山カントリークラブにおいて、協会主催のゴルフ大会を開催する。

(5) 新入会員の入会について。
昨年11月郡山支部より推せんのある新規入会希望の佐藤電気工事(株)(佐藤清太郎)について審査の結果入会も承認された。

2. 第30回総会記念行事実行委員会の開催

第30回総会記念行事実行委員会が4月21日開催され、一ヶ月後に迫った記念式典及び関連行事等について種々協議された。

- (1) 開催期日 5月20日 午後1時30分 福島県杉妻会館
- (2) 記念式典等の内容
 - 1. 式典及び祝宴の具体的な演出。
 - 2. 被表彰者の確認及び表彰方法。
 - 3. 県に対する寄付の内容。
 - 4. 来賓の範囲及び取扱い。
- (3) 業務分担
会場受付、進行接待、祝宴等について分担も決め、特に福島支部会員には多大の協力を

お願いすべく、
(4) 記念関連行事について
協会主催ゴルフ大会も5月21日新霊山CCにおいて午前9時30分スタートで行う。案内状は総会通知とともに全会員に通知する。

3. 昭和56年度研修旅行無事終了

4月8日より4泊5日の日程で実施された本年度協会研修旅行は、第30回総会を記念してアム島旅行も行つたが、参加者47名は全員元気でそれぞれ行動を共にし多くの思い出を胸に一人の事故もなく4月12日無事帰国した。現地のご挨拶を特集としてまとめてみたいので一読願いたい。

4. 印紙税法の改正について

3月31日の国会で印紙税法改正案が可決成立し、昭和56年4月1日から施行されます。改正印紙税額は別添のとおりとなっておりますのでお知らせします。

5. 協会の動き

4.8~12	協会研修旅行 アム島 47名参加
13	建団連正副会長会議 専務理事 建設センター
15	市町村工事の分離発注、県内業者優先指名方について熱塩加納村、北塩原村、喜多子市、塩川町、河東町長に陳情 会長
16	福島県水処理設備工事協同組合創立総会 専務理事 辰巳屋ホテル
17	木造家屋建築工事安全対策委員会 専務理事 建設センター
18	霞協親善ゴルフ大会 会長 新霊山CC
20	町村工事の分離発注、県内業者優先指名方について金山町、三島町、柳津町長に陳情。会長
21	第30回総会記念行事実行委員会 会長 委員10名 福島市
22	第1回理事会 理事22名 電協会館
24	昭和56年度会計監査 電協会館
25	福島支部総会 会長 福島市
27	会津支部総会 会長 会津若松市
28	いわき支部総会 専務理事 いわき市

— 会 員 消 息 —

◇ 電話番号変更

支部名	会 社 名	変 更 前	変 更 後
いわき	株式会社松本電気工業所	0246 4211~2424	0246 41241~2578
福 島	吉田電工株式会社	0245 51227~0270	0245 4134~4080 51~2027

◎ 総会の服装は制服で、ワイシャツは白。協会バッヂをお忘れなく。

又受注問題については他方本願によらず積極的な営業努力と行うべきである。話題となり、施工団体としては中央業者に対抗できる技術者の養成、同業者の技術、工事量においても格差を縮めることも努力し、設計団体も積極的に地元業者推せんの方をとるべく力を入れ分離発注推進についてお互い努力することに意見の一致を見られた。

2時間半にわたり懇談し、最後に伏見局長より講評を受けるなど盛會裡に終了した。

5. 理事懇談会開催さる

協会理事懇談会が3月23日午後2時より電協会館において開催し、協会の当面する諸問題について協議し、引き続き県土木部監理課長 渡辺定平氏も招き、昭和56年度県管轄工事の概要(別掲)、中小建設業の振興等を目的とした建設共同企業体の制度について説明を受け、各理事より活発な質疑等が出され、今後の県の公共工事発注の基本的な方針が理解されて実のある懇談会であった。

6. 本会及び電気工事工業組合4~5月行事予定

毎年のことではあるが4~5月は各団体の理事会、総会等も多忙を極めることであるが本会及び電気工事工業組合の行事予定も次のとおり決めたのであらかじめご知願ください。

1	電設業協会研修旅行	4月8日~12日
2	電設業協会30回総会記念行事実行委員会	4月21日(水)
3	電設業協会第1回理事会	4月22日(水)
4	電設業協会監事会	4月24日(金)
5	電気工事工業組合第1回理事会	5月8日(金)
6	電気工事工業組合監事会	5月12日(火)
7	電設業協会第30回通常総会及び記念式典	5月20日(水)
8	電設業協会第30回総会記念ゴルフ大会	5月21日(木)
9	電気工事工業組合通常総代会	5月29日(金)

7. 協会の動き

3.1	いわき支部 故布施勝判殿ご遺族に千懇金贈呈 会長 坂本副会長	いわき市 小島
6	第30回総会記念行事実行委正副委員長会議 会長 正副委員長 専務理事	霞協会館
11	県石油業協同組合理事長に石油会館建設に伴う分離発注要望 会長 専務理事	福島市
12	白河支部 例会 会長出席	
14	県建築設計監理協会第26回通常総会 専務理事出席	福島市
17	建設関係4団体懇談会 正副会長、支部長、池部理事長 専務理事出席	福島市
20	建団連事務局長会議 専務理事	建設センター
23	理事懇談会 理事20名出席	電協会館

- 会長 小河女史、手塚嬢を連れて ショッピング、迷が作振のを発揮する店
の店員 小河女史に「お連れの方 フリッピン人？ ハワイの二世？」(小河)
- 食べ物話題
プアムは比較的安い、特に安いのは肉と米、高いのは野菜、
野菜の多くでレストランは高級、肉の多いのはその反対。
- ティーショーを除いて夕食は各自々由、各支部毎思いつきの行動も、和食、洋食
中華料理、朝鮮料理等々……
プアムはアメリカ領なのでまずは本場のステーキ、ホテルオクラの地下レストラン
専門のステーキハウス「チャップス」厚く、大きく、やわらかく、味付けも日本人好みとする。
しかも安い、日本でなら1万円は下るまいと思ふステーキ、飲物も含め1人3,000円
小河女史がたっぷり2人分食べてケリ、ちなみに坂本副会長は半分まで満腹(肉の出る
前カラダで満腹)
- プアムに着いたら先づ果物を仕入れてきた、西洋ナシのかわらし(実の固いもの、
ナイフで切る中から種が少しも出る、しかし食べるに食べられる、ホテルマンにたずね
たらこれは果物にあらず、油でいじめて食べる野菜であると、
彼女 テツキ果物と思って買ったのに…… 会長の前で赤い顔。(小河)
- 日中は観光ゴルフで楽しみ、夜はゴルフ場で楽しみと実益を兼ねて
いわき支部の一行夕食すんでゴルフ場に乗りこむ、遅れて吉田富彦氏も合流、
仕組みは競馬と同じ、日本語の予想紙まであり、いわきの人バウワイに長けているのが全員
10歳から50歳も引気洋々を引き揚げてきた。
- 相双支部の紅2人、阿部、早川さん、行動では男女に引けとらぬはりきりだが、
買物になると旦那さん、子供さんのお土産選んで必至、免税店、スーパーではあつち
に行ったり、こつちに行ったり、やはり奥さんであり、母親でもある。
- 最長老の永井信氏 83 才の高令にもめげず元気カシヤ、郡山支部全員心配
をよそいはりきって行動されたのには恐れ入りました、今後益々お元気で活躍
の程も。

また沢山ご披露したい話題もありますが、紙数の関係でこの辺でやめさせて
いただきます、ご多忙の折多数ご参加下さる楽しい旅行が出来ましたことを
厚く御礼申し上げます、又来年の旅を楽しみに 【安部】

海外旅行特集

紺碧の空、コバルトブルーの海、そして常夏の国太平洋上に浮かぶ小さな島、
プアム島を目指しわが協会一行 47名は日本航空自慢のボーイング747に乗り
こみ勇躍出発した。

以下 プアム滞在中のこぼれ話を綴りご披露いたします。

- 東京の南約 2,400km、太平洋上に浮かぶ小さな島、プアム島、面積は 5,44 平方KM
淡路島よりちょっと小さい。アメリカの基地と観光からの収益が島の収入源、
現在のプアムはアメリカの準州扱いの属領であるが、実は 200 年間はスペインの植
民地であった。1898 年よりアメリカ領、1941 年太平洋戦争で日本が占領、2 年 7
月間「大島島」として統治した。1944 年アメリカ軍が上陸奪還され、以来アメリカ
領となる。人口約 12 万 8 千人のうち、島地チヤモロ人は 55%、アメリカ人 20%、フリッピン
人 11%、残り 14% は東南アジア系の人たち、日系人も約 1,000 人が住んでいる。
- チヤモロの人たちはノンビリ、オツリで勤労意欲がない、プアムで働いている人は約
2 万人、働かない人たちは生活保護を受けている、
又税は安く、8 人以上の家族は税金がかからない。
- 教育は結構すんでおり、島内に小学校 28、中学校 6、高校 6、総合大学 1 あわせ
て 41 の教育機関がある、小中学生は全員スクールバス(黄色いバス)で通学、学費は
無償、学習用具は学校におき身体一つで通学している。
- 島には自動車、電車、バス等の公共交通施設は全くない、頼るものはマイカーのみ、このため
自動車の台数は約 10 万台、1 戸で 4~5 台の所有はサラにある。
- 15 才から自動車免許が取得できる、試験は適当に路上も走り、うまく運転できれば
5 千円、5 千円 OK、
車検もあるがブレーキとライトが完全であれば 5 千円 OK。
- 日本車の売れ行きは抜群、ニッサン、トヨタ、ホンダは他の外車を大きく引き離して
いる、成程走っている車は日本車ばかり目立つ。
- 道路は歩行者がいらないため交通事故は殆んどない、たまに車同士の接触事故がある
が怪我のない方が勝ち、
日本のように見舞、示談等やつかないことは一切なし、全部保険で始末してくれる、
病院に見舞にゆく暇があるなら本でも読んで勉強でもしよう……
- プアムの女性は実に可愛い、なぜかわいのか、ミフロネシアの太陽と風景に調和
しているから、物珍しさからか、いろいろ付帯条件もあるが客観的にみてやっぱり
可愛い、現地の人、スペイン人、日系人、中国人、それにアメリカ人の血が混っているから
あのアパネス、ラムちゃんのように美人が生まれるのだろう。

- 9 日夜のティーショー、ホテル前の特設会場において夕食後、マイナミツなタヒチアン、
ショー、優雅なハワイアンと真黒く日焼けした、たくましい身体の子ヤモロ青年と若く
ピンピンと均整のとれた美人の子ヤモロ少女、いつも芸達者、特に見事なのは火の踊
り、フレナーは見学者の中から踊り手が指名し舞台においておどりのコンテスト、
上野氏(大和電設)庄原氏(立東電気)のほか女性 2 名が指名されはりきって舞台へ、
踊り手と向いつて棒を振りながらおどる、恰好はまさに傑作、大爆笑、
おどりが終わると拍手により優劣を決める、上野氏全おどりになっているが、コミツツ的
な動きが受けし大拍手でチヤモロ、パートナーよりお祝いのキッスと賞品を受け本人
大満足で降壇。
- 海外における本会初のゴルフコンペ 19 名が参加し太平洋ゴルフカントリークラブにお
いて熱戦も展開、
海辺のゴルフ場とはい、風がなく、照りつける太陽のあつさにフーフー
後半は全員完全にバテ、スファも乱した、
成績次のとおり
優 勝 松崎 勉 大和電設工業(持)
2 位 佐々木政巳 光建電気(株)
3 位 成田幸一 曲郡山電機製作所
4 位 三瓶良孝 太陽電設(株)
5 位 高橋幸一 瀧高橋電気工業所
- ゴルフの話題もう一つ、
ゴルフキチというかノ目で尻す、連日通つた顔振れ、松崎氏(大和電設)松本氏
(松本電気)高橋(南氏)高橋(電気)佐々木氏(光建電気)吉田(昌)氏(吉田電工)筆者も
2 日目に参加したがあつたこと、あつたこと、
コースで現地の商社マン曰く「われわれもゴルフは飯より好きだが連日のプレーは
あつて不可能、皆さんには恐れ入った」「何を言っか、出来たらもう一日やりたいんだ」
- 次は釣りキチの話題
郡山支部の山下氏(東電気)飛田氏(中央電業社)新野氏(日新電設)は日本より釣り
道具持参、ココス島では桟橋で 2 時間もカンバリ、小魚 10 匹程度の成果、脱水症状に
なりへつへつ、
それでも満足せず翌日一行 6 名、朝 6 時出発でトローリングに……
成果の程は残念ながら聞き満ちた、
新野氏の釣具が役に中ずれ、中ずれ、せがまれ、やむなく提供。
- プアム島におけるゴルフは高級職業の一つ、日本語がべらべら、そして政治、経済、文化
にも知識がなくてはつとまらない、
市内観光のバスがトはまさに名ガイドであつた、しかもその姿が良から、インド人も
びつくり、会長そつくり、思わす一行「ここにも会長が居る」

